

「卓越大学院プログラム」中間評価結果

機関名	東京大学	整理番号	1904
プログラム名称	変革を駆動する先端物理・数学プログラム		
プログラム責任者	星野 真弘	プログラムコーディネーター	村山 斉

(評価決定後公表)

(総括評価)

- S:計画を超えた取組であり、現行の努力を継続することによって本事業の目的を十分に達成することが期待できる。
- A:計画どおりの取組であり、現行の努力を継続することによって本事業の目的を達成することが期待できる。
- B:一部で計画と同等又はそれ以上の取組も見られるものの、計画をやや下回る取組もあり、本事業の目的を達成するには、助言等を考慮し、一層の努力が必要である。
- C:取組に遅れが見られ、一部で十分な成果を得られる見込みがない等、本事業の目的を達成するために当初計画の縮小等の見直しを行う必要がある。見直し後の計画に応じて補助金額の減額が妥当と判断される。
- D:取組に遅れが見られ、総じて計画を下回る取組であり、支援を打ち切ることが必要である。

[コメント]

大学院全体の改革を実現する卓越した学位プログラムの確立については、研究室ローテーション、原則英語で実施される 4pm セミナーなど独自の取組が有効に機能しており、大学院全体の改革を牽引できる卓越した学位プログラムであると高く評価できる。分野の異なる副指導教員制度、研究室ローテーションなど有効に機能している本プログラムの取組について、今後全学レベルへの波及を期待したい。

修了者の高度な「知のプロフェッショナル」としての成長及び活躍の実現性については、国内外での研修、ダイバーシティ倫理教育、キャリア・ワークショップなど効果的な教育プログラムが実施されており、修了者が高度な「知のプロフェッショナル」として国際的に活躍することが十分に期待される。ただし、プログラムを辞退する学生が多数見受けられることから、より一層の学生ケアに努める必要がある。

高度な「知のプロフェッショナル」を養成する指導体制の整備については、分野の異なる副指導教員制度、研究室ローテーションが良く機能しており、研究室ローテーションによる融合テーマの創出例も出てきていることから、高く評価できる。

優秀な学生の獲得については、受験倍率が安定して目標値 1.5 倍を超える 2 倍以上となっていること、審査は厳しく落ちる学生もいることなどから優秀な学生を獲得してきているものと評価できる。

世界に通用する確かな質保証システムについては、学位審査は既存の研究科の制度のもとで行われ、別途プログラム修了審査が本プログラムで独自に行われること、学位記には本プログラム修了についても記載されることなどから確かな質保証制度が構築されているものと評価できる。

事業の継続・発展については、全学的な資金サポート体制が確立されていること、本

プログラム独自の支援基金も立ち上げられており自主的な資金獲得にも努めていることなどから、事業の継続・発展について十分な計画がなされているものと高く評価できる。